

総合的な学習の時間 (インテンシブ学習)の成果

岐阜県ふるさと教育表彰 優秀賞受賞

教師版インテンシブ学習の取組

多種多様な分野で活躍する地域、県内、国内、世界の方々の特別授業を通して、学校では学ぶことができない専門的な知識・技能を習得したり、自分の興味・関心を広げたり、職業観・勤労観を養ったりすることができる。

「教師版インテンシブ」と題し、6月30日(金)の2時間、9月30日(土)の2時間で合計45講座(講師101名)開講した。

終わりに

今年度実施された全国学力学習状況調査の生徒質問紙において「将来の夢や目標を持っていますか」に対する回答は**56.8%**であった。これは3年生に限ったことではないと捉えており、本校の生徒は真面目に学習や部活等に取り組んでいるが、全生徒が将来への目的意識をもって取り組んでいるわけではないことに大きな課題を感じている。そこで本年度は上記の「教師版インテンシブ」を2回開催することに加え、岐阜市が実施している「**ぎふMIRAI's**」の活動に100%参加したり、校外に出てホテルや**SDGs**を推進している企業の方の話を聞いたり、体験活動をしたりすることを通して、生徒が専門的な知識・技能を習得したり、職業観やプロの生き方を学び、自己の興味関心を広げたり、生き方を考えるきっかけとすることができるような教育課程を組んだ。これらを実施した後、11月にとった生徒アンケートの結果は右図の通りである。

「**夢や希望をもつよい機会となった**」と回答した生徒の割合は**94%**であり、大変効果のある教育活動であることが分かる。将来の夢をもつためには、まず世の中を知ることが大切だと考える。「第5回 改定厚生労働省編 職業分類 職業名索引」によると日本にある職業名の数は18,725といわれている。すべてを知るのは難しいが、「世の中にはこういう世界(仕事)もあるのか」と知るきっかけを学校教育で与えることができれば、興味・関心をもち自ら職業を調べることにつながり、夢や希望をもって自分の人生を切り拓く生徒になっていくのではないかと考える。

今後も地域の人・もの・こと等から、ふるさとの魅力等を知ると共に、自らの生き方を考える生徒の学習活動の充実を図っていきたい。